

みんなのおすすめ本

～秋の夜長、読書を楽しんでみませんか？～

ひまわり

No.46
2024.10月
■生徒数…1,959人
■PTA会員…1,930人
8月現在
編集・発行
福岡工業大学附属城東高等学校
PTA広報委員会

「FACTFULNESS」



日経BP
著者：ハンス・ロスリング、オーラ・ロスリング、アンナ・ロスリング・ロンランド
訳：上杉周作、関美和
推薦者：1年生の父親 ヤハ崎さん

スウェーデンの医師ハンス・ロスリングが書いた本で、私たちが抱える世界の問題に対する誤解を解き明かします。データに基づいて、貧困や教育、環境問題などについての正しい見方を学ぶことができます。世界は思ったよりも良くなっていることに気付く、物事を客観的に考えるきっかけになると思います。思い込みや偏った考え方より、事実に基づいた判断の大切さを教えてくれる一冊です。

私達はいろんな情報にさらされています。ちゃんと事実から物事を判断して欲しいですね、若者には。

「麹町中校長が教える 子どもが生きる力をつけるために親ができること」



かんき出版
著者：工藤勇一
推薦者：1年生の母親 neco necoさん

思春期の娘の気持ちを理解したいと思っていた頃に目に止まった本です。「子ども自身で将来のことを考えさせ決めさせない」とと再確認させられた本です。失敗しないようにと、つい先回りして過干渉しがちですが、親はアシストするだけの存在。ナルホドと刺さります。問題行動をする子に対して「じゃあ、君はいつ頃、何歳頃にその行動をやめてるの？」と子どもに考えさせる…。まずは親である自分が子どもの視野を広げられる言葉をかけ、「こうあるべき」ととらわれず肩の力を抜く参考になりました。

「前祝いの法則」



フォレスト出版
著者：ひすいこたろう、大嶋啓介
推薦者：3年生の母親 えりさん

日本人は古来から予祝を習慣としていました。米の豊作を願ってやっていたお花見もその1つです。春に咲く桜を秋の稲の実りに見立て仲間とワイワイしながら、喜びを引き寄せようとしていたそうです。予祝は奇跡とも呼べる様な結果を引き寄せるのです。例えば、弱小高校球児が甲子園を目指し、まず取り組んだのは自己肯定感を高める習慣です。1日3つ自分と約束し、それを達成していくというものです。やがて自分に自信がついた球児たちは甲子園の夢を達成します！

このような前向きになれるメッセージが詰まっており、これから大人になる皆さんに是非参考にしたいと思います。

「夢をかなえるゾウ1」 自己啓発小説



文芸社
著者：水野敬也
推薦者：3年生の母親 EMIさん

主人公は人生を変えようと思っているのにうまくいかないサラリーマン。インドからやってきた神のガネーシャと同居すること。好き勝手にふるまうガネーシャですが、彼が主人公に出す課題をクリアしていくうちに人生が変わり始めます。面白く笑える物語の中に、「なるほど」とか「やってみよう」と思える事がたくさんあり、勉強になります。普段あまり本を読まない方でもスラスラ読めるのでおすすめです。娘にも、一度は読んでほしい本です。

「テッパン」



小学館
著者：上田健次
推薦者：3年生の父親 雪丸さん

昭和のあの日に戻りたいですか？同窓会での会話から昭和のあの日にタイムスリップ。80年代に中学生生活を過ごした世代にとって、三年の夏休みといえば「夏期講習」。そこで出会った、中学生ながら屋台を営む町一番の不良との出会い。平凡な家庭で育った、まだまだ世間を知らない中学生の僕と、家庭の事情から大人の社会で生きる不良との切なすぎるひと夏の物語。あの頃にしたい方にオススメです。

「笑わない数学」



KADOKAWA
編：NHK「笑わない数学」制作班
推薦者：3年生の母親 AKIさん

NHK「笑わない数学」の放送内容を書籍化したものです。この本では、素数、無限、四色問題、フェルマーの最終定理、確率論、ガロア理論を扱っています。どれも難解ですが、わかりやすく解説してあります。そうは言ってもスラスラ読むことのできるものではありません。その分何度読んでもおもしろい！数学者達のユニークなものの見方、難問に挑み続ける情熱と忍耐力には感動し鳥肌が立ちます！



校長先生とPTA会長に
聞いてみました



PTA会長
さとうかずゆき
佐藤和幸

学校長
さえきみちこ
佐伯道彦

令和6年度 PTA委員会の紹介

学生時代に熱中していたことは？

校長先生 柔道。小学校時代から31歳まで現役でやっていました。小学校・中学校・大学では主将(キャプテン)でした。残念ながら、あまり活躍はできませんでしたが(笑)。

佐藤会長 漫画、小説、料理、映画、洋楽など。基本的には文化系ですが、アイススケートが上手な同級生に感化され、月間バスで毎日リンクに通っていました。

今、高校生の頃自分に掛けてあげたい言葉は？

校長先生 もうダメだ!! と思ってからの、もうひと踏ん張りで何かが変わるかもよ！

佐藤会長 やりたいことを遠慮せずにやってみよう!!

お二人にとってヒーローは？

校長先生 植木 通彦(うえき みちひこ) さんです。同じ生まれ年で名前が一音違いであることもあり、勝手にライバル視していました。レース中の事故による大きな怪我からの復活劇には勇気をもらいました！

※植木 通彦：1968年生まれ。北九州市出身の元オートレーサー。レース中の事故で九死に一生の怪我を負う(顔面を75針縫う重傷)。リハビリに励み、通算74回の優勝(10年連続賞金王決定戦出場→3回制覇)。「平成の不死鳥」と呼ばれる。

佐藤会長 命がけの出産になると分かっていたにもかかわらず、命と引き換えに産んでくれた実母と、血の繋がりが無いにもかかわらず、深い愛情で育ててくれた義母。そして、私を親として、また大人として成長させてくれる子ども達もヒーローですね。

城東高校の好きな場所、おすすめの場所

校長先生 朝の校門。毎朝登校風景を見ていると、みんなからエネルギーをもらって元気が出てきます。

PTA会長 大学のA棟B棟裏の、鬱蒼とした雰囲気が好きです。また、観覧席に人がいっぱいFITアリーナのステージも好きです。新入生登校日のPTA紹介はとても緊張しましたが、やり遂げた自分が誇らしくなりました。



PTA総会開催

2024年5月11日(土)

総会前に学校現状報告会が行われ、卒業生の進路や生徒の日常の様子について報告がありました。

PTA総会は、出席者370名、委任状1,573名、計1,943名の参加で成立し、すべての議案が承認され新役員紹介が行われました。

PTA本部



『PTA研修会』

=活動内容=
PTA総会運営
各委員会の運営のサポート
PTA研修会等の企画
PTA役員定例会の運営

文化委員会



=活動内容=
文化祭での物販
(R5年度は100円フォトホルダー販売)

厚生委員会



=活動内容=
卒業生へ紅白饅頭の配布

学年委員会



学校見学会：模擬講義「イルミネーションを作ろう」
学校見学会：模擬講義「サイエンスショー」
=活動内容=
保護者対象の講演会の企画、学校見学会の企画

体育委員会



=活動内容=
体育祭で生徒への差入れと、
来校者へのジュース販売

『完売しました!』

広報委員会



部活動の取材



体育祭の取材

=活動内容=
城東高校を知ってもらえるような
広報紙の発行(年2回)



All Blue



【お知らせ】
紙面に掲載しきれなかった画像を
「電子版ひまわり」に
掲載しています！



竜吟虎嘯



咲かぬなら咲かせてみせよう栄光の花



2024年度
体育祭
咲



百花繚乱



神算鬼謀



夢に 向かって *Keep it up!!* 城東部活動生

PICK UP 1 公務員研究同好会

活動日：月曜・水曜・木曜(3年のみ) 夏休み直前特訓あり
3年生は9月受験以降は毎日面接特訓あり
土曜・日曜に講習、模試に参加あり

活動場所：1年13組教室



尾花陸人部長

メリハリがあり、楽しくやる時は楽しくやって、やるべき時はしっかりやって、実績をきちんとだすところが公務員研究同好会のいいところです。普段の活動は座学が多いですが、土日に学校外の講習会等に行く時は、みんなで話しながら行きます。普段とは違った一面を知ることができ、コミュニケーションもとれて楽しく学べます。

目標は、なんといっても！

公務員現役合格

公務員現役合格を目指すという気持ちが高まり、今頑張っています。学習面では、教科書に載っていないことまで庄野先生が詳しく教えてくださるので理解が深まります。生活面では、先生に周りを見て進んで行動するように教えていただき、状況を判断し行動する力がつきました。

井手さん

公務員研究同好会は、高校生を現役で公務員試験に合格させるという目的と、社会に貢献する生徒を育てていくという想いで作り上げました。様々な資格を取り、卒業生も全国各地で活躍をしています。昨年度の一次試験合格率は90%でした。最終合格者は70%で、専門学校を渡くほどの合格率を誇っています。あくまで個人で合格ですが、チームで切磋琢磨し話し合いながら、「チームで合格していこう！」という意識を高めています。ラストスパートは8月で、9月からは学校行事の合間に、ほぼ毎週受験です。皆大変ですが、社会貢献力を発揮したいという生徒ばかりです。お手助けしたいと思っています。



庄野美音先生

指導について：生徒の士気を高めることも大事ですが、反復練習といった勉強の仕方を教えることが大切だと考えています。以前専門学校でも救急救命士科で公務員試験の勉強を教えていました。この経験があったので、城東高校で公務員研究同好会を立ち上げ、公務員予備校のようにやっています。複数受験するように勧め、数多く合格した生徒はそこから行きたいところを選んでいました。昨年は5つ合格した生徒もいました！

適性教養試験について：仕事の処理能力を見るもので、スピード感をもって解くことが大切です。回数を重ねるとたくさん解けるようになります。1〜3年生が同じ試験を受けると、3年生が1年生に抜かれることもあります。1・2年生は下剋上を狙い、3年生は抜かれないように頑張っています。

取材員より一言：庄野先生の愛情が溢れる同好会！学習中は真剣で、とてもいい雰囲気です。

PICK UP 2 女子サッカー部

活動日：火曜・木曜・金曜・土曜午前

活動場所：高校グラウンド



倉富京和部長

笑顔を意識して、明るい雰囲気を大切にしているチームです。そのため日々の生活でも明るい雰囲気です。人間的な部分も成長できています。サッカー経験者はほんの数人しかいませんが、小さな積み重ねを大事にし、できたことを褒め合ったり、できないことはどうやったらできるかを先輩から後輩に伝えていっています。私もサッカーは高校から始めてできなかったら良かったのが、得点を決めたり試合に勝てるようになりました。その達成感はもちろん、一から始めたことの努力が目に見えて結果として出るのがすごく嬉しいです。ミーティングなどで、みんなから意見が出ることや、メンバーの成長がみられることも嬉しいです。

チームの目標は **みんなで勝て、応援されること**



リスペクト&感謝

“リスペクト”と“感謝”をキーワードに頑張っています。女子サッカー部は、ボトムアップ、選手主導で全員でチームを考える活動をしています。試合相手や審判など、まわりの方々に感謝することを大事にしているところはこの部の魅力です。いろんな部活動見学をして、女子サッカー部が一番雰囲気がよかったと入部してくれた生徒も多いです。



谷水健悟先生
(男です…)

取材員より一言：終始にこやかに部員を見守る先生、笑顔で練習をする部員たちがとても印象的で、私もサッカーを楽しくなりました！日焼けに負けずがんばれ！！

PICK UP 3 落語同好会

活動日：月曜・水曜

活動場所：上善荘3階作法室

随時見学受付中！！



貝野俊希部長

目標 **寄席を開く!!**



**みんなを
大爆笑に!!**

落語同好会

落語が好きになったのは祖父の影響で、落語研究会のある高校を探し城東高校に入学しました。落語は日本の伝統芸能に触れることができ、何より話すのが上手になります！幼い頃から独学で動画等を観たり聴いたりし、聞き覚えて学んでおり、今では寄席を開いてほしいとの依頼をいただくようになりました。部員が少ない中で頑張っています！応援してください！

井原先生：現在は少人数なので時間たっぷり話すことができ、しっかり練習ができます。コミュ力も上がります。
福井先生：プレゼンテーション能力というのがすごく重視されるのですが、背景も何もない中で自分の言葉と動作、あとはタイミングだけで、全てを表現していきます。話術が身につくと、必ず将来の役に立つと思います。
井原先生：福井先生は、城東高校の落語同好会創設者なんです。
福井先生：学生時代、私も落語同好会に所属していました。落語が好きで立ち上げました。
井原先生：福井先生が「開組」私は「中興の祖」なんです(笑)。落語同好会をしっかりと背負っています！！
福井先生：発表の場では、しっかり実力がある貝野部長はもちろん、新人の子たちのことも観てもらいたいですね。みんなで高め合っていけるのもいいですね！

取材員より一言：部員も先生も、落語への愛と情熱たっぷりにお話しいただきました。活躍の場が広がってきているとのこと！皆さん城東高校落語同好会にエールを！！



福井慎吾先生 井原慎一先生

PICK UP 4 応援団

活動日：平日・土曜午前

活動場所：特別教室②・音楽室

気軽に見に来てね！



北村明音團長

目標は自分に自信を持つこと。団員、先生、OB等との繋がりの深い部活動です。

團長のスゴイところ

メリハリがあって、
わかっていて、
COOL!

山田さん

メリハリのある
部活の雰囲気
をつくってくれるところ
Thank You

香月さん

メリハリのある
部活の雰囲気
をつくってくれるところ
Thank You

板坂さん



前原先生：入団したての頃はわけもわからず先輩たちについて応援するだけですが、誰かを応援することで応援する側も元気づけられ、次も頑張ろうという気持ちで勝つってほしいと団員たちもどんどん気持ちが大きくなっていきます。形に残るものはないかもしれませんが、三年間続けられるのは、彼らの中で何かが残っているのだと思います。
大塚先生：実は前原先生は、応援団の私の教え子なんです。OBがよく練習に来てくれますし、歴代団長が学校行事に来てくれることもあります。本当によく顔をだしてくれていて助かっています。

取材員より一言：キリッとしつつも笑顔の溢れる場面もあり、楽しく活動されていました。先輩方との繋がりが強いとのこと、頼もしいですね！



大塚圭祐先生
(応援団顧問歴30年！)

